

C S F（豚コレラ）防疫対策の取組状況について

産業経済部 農業課
林務課

1 飼育豚へのワクチン接種

養豚農家から強い要請のあった「豚へのワクチン接種」については、国の防疫指針が改定され、県のワクチン接種プログラムに従って 10 月 26 日から接種が始まり 29 日には市内のすべての養豚場で初回接種が完了した。初回ワクチン接種では 20 日以内に出荷を控えた豚と哺乳豚についてはワクチンの接種が行われていないが、豚の出荷種計画・離乳時期の状況にあわせて農家と相談して順次ワクチン接種が進められている。

2 養豚場における防疫対策の進捗状況

(1) 支援対象農場

○対象の養豚場 10 農場（山本 3、千代 2、川路・竜丘・龍江・三穂・下久堅各 1）

参考 南信州 18 農場（飯田市 10、松川町 2、高森町 2、豊丘村 2、喬木村・下條村各 1）

(2) 防疫対策に対する支援の考え方

事業	内 容	農場数	補 助 率	見 込 額
防護柵設置	7/15 日以前の整備	1	県 1/2・市 1/2	880 千円
	上記以降の整備	9	国 1/2・県 1/4・市 1/4	5,590 千円
消毒装置設置	設備あり	3	—	—
	設備なし	7	県 1/2・市 1/2	4,920 千円
予算額 15,250 千円（9 月補正）				合計 11,390 千円

(3) 進捗状況

○防護柵の整備状況（11 月 28 日時点）

- ・整備着手済みの養豚場：7 / 10 農場
- ・未着工の養豚場については、12 月末までに設置完了の予定で計画している

○消毒装置の設置状況（11 月 28 日時点）

- ・整備に着手した養豚場：0 / 7 農場
- ・県と連携して各農家との間で設置に向けて調整中

3 まん延防止対策の取組状況

○注意喚起立て看板の設置（あわせて石灰散布）

林道 16 箇所、市道 6 箇所、野底山森林公園、風越山登山道 2 箇所（看板のみ）、国道 1 箇所（看板のみ）

○注意喚起文の掲出

市役所本庁舎 3 箇所、りんご庁舎、各自治振興センター及び公民館、体育施設 8 箇所、文化会館、美術博物館、S-B I R D、野底山森林公園、林務課、農業課

○財産区を通じて注意喚起文の掲出：キノコ山入口 80 箇所

○公用車の消毒：林務課、農業課

○消毒マット設置

市役所本庁舎 3箇所、養豚場がある地区の自治振興センター（千代・龍江・竜丘・川路・三穂・山本）、動物園、かざこし子どもの森公園、林務課、農業課

4 野生イノシシ対策の推進と対策に要する経費

(1) 国のマニュアルに沿ったウイルス感染確認検査の実施（飯田市該当）

○死亡イノシシ 全頭検査

○捕獲イノシシ 調査対象区域（陽性確認地点を中心に半径10km）内全頭検査

※感染確認検査等の実施期間を「少なくとも28日間」と定めているが、全国で終息の兆しが見えない状況から「当面継続」としており、今後も継続した検査対応が必要。

(2) 県の特別警戒指定区域におけるウイルス感染確認検査の実施（飯田市該当）

特別警戒指定区域：飯田市（上村・南信濃地区以外）、高森町、松川町、阿南町、根羽村、平谷村、売木村、喬木村、豊丘村、天龍村、下條村、泰阜村

○捕獲イノシシ 有害鳥獣捕獲個体を検査

（11月21日現在全頭検査であるが、蔓延している地域については、抽出検査に切り替えられる。）

(3) 経口ワクチンの緊急散布（飯田市非該当）

○第1回 7月 根羽村、平谷村で実施

○第2回 9月 阿智村清内路周辺、阿南町、天龍村周辺で実施

(4) 県の野生イノシシ拡散防止事業（飯田市非該当）

○CSF（豚コレラ）対策上、地形的に重要な箇所（＝防衛ライン）での重点的な捕獲活動

管内の防衛ライン 平谷～天龍：平谷村、売木村、阿南町、天龍村

清内路～南木曽：阿智村（清内路）

(5) 経口ワクチン散布（ベルト名：竜西-中央道ベルト）（飯田市該当）

○CSF（豚コレラ）ウイルスの日本全国への拡散を防ぐため、東日本・西日本でベルト状に散布。

竜西地区（座光寺・上郷・飯田・鼎・伊賀良）の84ポイントへ散布（10月10日、11日、11月11日）

(6) 調査対象区域（10km圏内）または特別警戒指定区域（CSF（豚コレラ）のモニタリング強化地域）における捕獲者等支援（特別警戒指定区域に飯田市該当）

○事業費 2,000千円

○事業内容 消毒用機材等消耗品、検体の搬出機材購入、埋設処分地の確保、掘削・埋設作業実施、立会および埋設等補助のための臨時職員賃金

5 全国におけるCSF（豚コレラ）発生状況

(1) 養豚場 50事例（11月28日現在）※農林水産省HPから

岐阜22農場、愛知17農場、三重1農場、福井2農場、埼玉5農場、長野2農場、山梨1農場

(2) 野生イノシシ 1,470頭/7,576頭（11月22日現在、陽性頭数/検査頭数）

群馬県 6頭/305頭	埼玉県 22頭/339頭	富山県 30頭/185頭
石川県 10頭/215頭	福井県 31頭/264頭	山梨県 2頭/45頭
岐阜県 1,072頭/2,712頭	静岡県 13頭/496頭	愛知県 103頭/1,357頭
三重県 25頭/955頭	滋賀県 26頭/210頭	
長野県 130頭/493頭	うち南信州地域 14頭/155頭（捕獲145頭、死亡10頭）	

※南信州地域振興局管内の状況（11月28日現在、陽性頭数/検査頭数）

阿智村5/74頭、根羽村4/30頭、平谷村2/13頭、下條村0/1頭、高森町1/3頭、阿南町0/1頭、松川町1/18頭、喬木村0/3頭、豊丘村0/6頭、売木村0/1頭

飯田市1/5頭（11月11日に大瀬木で捕獲された野生イノシシが陽性）